

CONTENTS

- 01 国際ロータリー
会長紹介
- 02 ガバナー紹介/就任のご挨拶
- 03 ガバナー補佐就任挨拶
- 04 新入会員紹介
- 05 物故会員/お知らせ
- 06 2026年5月会員数報告
- 07 コーディネーターニュース
- 08 2026-27
地区資金・基金予算書

01 国際ロータリー会長 紹介

2026-27年度のスタートです



2026-27 RI会長
オラインカ・ハキーム・ババロラ
 トランス・アマディ・ロータリークラブ所属
 ナイジェリア・リバース州

1988年に大学で工学の学位を取得。シェルPLCで要職を歴任するなど、石油・ガス業界で25年間勤務し、4大陸でプロジェクトを実施。リビエラ・テクニカル・サービス社(石油・ガスインフラ供給会社)とリード・アンド・チェンジ・コンサルティング社(管理職コーチングと組織業績アドバイザーグループ)の2社を設立。

ババロラ氏が所属する専門職団体には、ナイジェリア技術者協会、ナイジェリア安全専門家協会、変革管理専門家協会などがある。経済・社会政策について政府に意見を提供する、故郷イバダン市の組織「ジェリコ・ビジネスメン・クラブ」のメンバーとなっている。

ローターアクターとして10年間活動し、1994年からはトランス・アマディ・ロータリークラブの会員。2011-12年度に地区ガバナー、2018-20年度にRI理事、2019-20年度に副会長を務めた。2017-23年度にEnd Polio Now: 歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会(2017-20年度副委員長)、2013年～現在はナイジェリア・ポリオプラス委員会(2016年～現在アドバイザー)での役職を歴任。

妻プレバさんと共にポート・ハーコート市に在住。冠名基金とアーチ・クランフ・ソサエティを通じてロータリー財団を支援。シェルターボックスUKの評議員としてボランティア活動も行っている。ポリオのない世界のための地域奉仕賞、RI超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞。

オラインカ・ハキーム・ババロラ
 2026-27年度国際ロータリー会長のメッセージ

▶ PDF、視聴、動画ダウンロード



R.I.D 2550 tochigi
 Facebook QR

02

ガバナー紹介/就任のご挨拶



2026-27 ガバナー
高橋 智純
(西那須野RC)

新年度を迎えることに当たり、国際ロータリー第2550地区のロータリアンの皆様、並びに関係の方々にご挨拶申し上げます。

私は今年度(2026-27年)ガバナーを拝命しました高橋智純と申します。生年月日は1953年7月25日生まれで今年73歳になります。現在那須塩原市(旧西那須野町)で宗源寺という禅寺で住職をしております。高校は地元(大田原高校)で大学は駒澤大学に進み、卒業後は横浜鶴見にあります曹洞宗大本山總持寺で修行して参りました。因みに總持寺には日本のロータリーの代表的な方、米山梅吉翁のお墓があるところで、私は毎年1月11日に本山直末会で年賀拝登というのがあり、そのときに墓参しております。(本年はその時期、米国フロリダ州オーランドで国際協議会参加のため行けませんでした。)

1977年に住職に就任し現在に至ります。ロータリー歴は1983年に西那須野ロータリークラブに入会し、主な役は飯村愼一ガバナー年度(2013-14年)にガバナー補佐を務めさせて頂きました。

さて2026-27年度RI会長、オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏は、本年度のメッセージとして「持続可能なインパクトを生み出そう」を掲げられました。

私は当地区および各クラブにおける「インパクト」とは、一、これまでの実績を超える会員増強、二、新たな時代を切り拓く斬新なクラブの設立、三、伝統の継承にとどまらない革新、この三であると定義いたします。

過去の延長線上ではない、これまでにない規模での純増。そして、多様なニーズに応える新しい形のクラブの誕生。クラブの現状を見直し、これまでの形式やモデルに固着しない変革。それこそが、地域社会に長期的かつ測定可能な変化をもたらす原動力であり、持続可能なロータリーの礎となります。

『地区方針』として「奉仕を通して、ロータリーを楽しもう」です。

「インパクト」を実現するためには、時代に選ばれるクラブ環境の整備と、既成概念にとらわれない挑戦が不可欠です。

以上のことで進めて参りたいと思います。

直前ガバナーへの謝辞

二十二直前ガバナーにおかれましては大変お疲れ様でした。私がガバナーノミニーに推挙された頃から約2年間、陰に陽に優しくご指導を頂きました。長年青少年交換に携わってこられた方なので、その教えは繊細かつ丁寧でありました。本当にありがとうございました。これからは公共イメージの方でも力を入れられるようで、ご活躍を祈念いたします。

地区目標と方針

▶ 地区ホームページへ

03

ガバナー補佐就任挨拶

第1グループ



2026-2027年度
第1グループ
ガバナー補佐
よし なり とし み
吉成 仁見
(大田原RC)

2026-2027年度 第1グループガバナー補佐を拝命した吉成仁見と申します。この1年間、この重責を懸命に務めて参りますので皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。今年度は西那須野ロータリークラブの高橋智純ガバナー年度です。第1グループ全体でお手伝いして大いに盛り上げたいと思います。

オンラインカ・ハキーム・ババロラRI会長のメッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。その実現を自分でつかみに行こうと強調されています。自分を変えられれば

クラブと地区を変えられる。地区を変えられれば地域社会を変えられる。地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことが出来るというものです。

高橋智純ガバナーは、地区目標と方針として「奉仕を通して、ロータリーを楽しもう」を掲げています。その重点取り組みは、1. 風通しの良い組織文化の醸成、2. 多様性の受容と活躍の推進、3. 斬新なクラブの設立推進、4. リーダーの情熱ある実践、の4つです。新しい仲間を迎え入れ、新しい形のクラブを生み出すこと。単発ではなく地域に持続可能なインパクトを与えることが重要だとお話しされました。また、高橋智純ガバナーは、お釈迦様は人生において大切なこととして、人生における「師」、人生における「教え」、人生を共に語り合える「友」の3つを挙げているとお話しされました。是非、ロータリー活動に役立てたいと思います。

これから1年間、高橋智純ガバナーに教えて頂きながら、第1グループ全体で情報を共有しつつ協力していきたいと思っております。どうか宜しくお願い申し上げます。

第2グループ



2026-2027年度
第2グループ
ガバナー補佐
しお ざわ ゆう じ
塩澤 雄二
(馬頭小川RC)

2026~27年度第2グループガバナー補佐を拝命致しました馬頭小川ロータリークラブの塩澤雄二と申します。

高橋ガバナーと第2グループ各クラブのパイプ役として精一杯努力し、一年間務めて参りますので、皆様のご協力よろしくお願い致します。

高橋ガバナーの地区目標方針は『奉仕を通して、ロータリーを楽しもう』です。

各クラブへのお願い取り組みとして次の通り目標とされました。

- ・会員増強
- ・奉仕活動の充実
- ・クラブセントラルの活用
- ・ロータリー財団への寄付
- ・ポリオ根絶への寄付
- ・米山奨学会への寄付

各クラブの特徴を生かし楽しめる活動ができることに少しでもお手伝いできればと思います。

本年度のRI会長、オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏は、『持続可能なインパクトを生み出そう』のテーマを掲げました。

ロータリーが明確かつ具体的なインパクトを生み出していることの証が求められています。ロータリーとともに、地域社会や世界で変化をもたらすために、私たちの専門知識を生かす新たな方法を探り、これからも世界に対するロータリーのインパクトを実証していきましょう。と言っています。

私ども、ロータリアンとして持続可能なインパクトを生み出す為の取り組みを実践出来るよう進めて参りましょう。

03

ガバナー補佐就任挨拶

第3グループA



2026-2027年度
第3グループA
ガバナー補佐
村上 龍也
(宇都宮西RC)

この度、2026-27年度 第2550地区 第3グループAガバナー補佐を拝命しました宇都宮西ロータリークラブの村上龍也です。

各クラブ会員の皆様のご協力をいただきながら、一生懸命努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

オンラインカ・ハキーム・パバラRI会長と高橋智純ガバナーのメッセージのもと、その実現に微力ながらも尽力していくつもりでおりますが、同時に、国際協議会でのジョン・ヒュー

コ事務総長のスピーチでは、近年の国際社会を取り巻く環境の変化やロータリーの世界観が劇的に変化していることに驚かされます。

私たちのクラブはどの方向へ向かうのか。そのバックボーンとなる地域や地域経済で若者の価値観や女性活躍など私たちの身近でも大きな時代の節目を迎えているように感じます。どんなに議論を深めても正しい答えは無いものと思いますし、正解や答え・知識を求めることがロータリー活動とは思いませんが、いよいよ私たちの新年度が始まる中で、理事・役員をはじめ新会長・幹事の皆様が、誰よりも各クラブのこの一年とこの先の将来を考えていると思います。

是非、たくさんの会員の皆様と仲間を巻き込んで、3Year Rolling Goalsを念頭に楽しいクラブライフを共に実践していきましょう。その末席に補佐として同席させていただければ幸いです。

第3グループB



2026-2027年度
第3グループB
ガバナー補佐
辻 裕司
(宇都宮東RC)

第3グループBの補佐となりました辻です。私にこの話が回ってきましたのはすでに補佐研修が始まる頃でした。今さら引き受け難かったのですがクラブの事情だからと思いを縦に振った次第です。

おっとり刀の参加で時間的制約もありますが、ある程度の経験はして来ております。

わたくしが以前クラブ会長になるとき、わがクラブに欠けているロータリーのプログラムを導入しようと思いました。地区米山委員長を引き受けました。カウンセラーとして10名引き受け、ドクターを2名育てました。ベトナムの少数民族に資金援助をいたしました。姉妹クラブを作りました。ローターアクトクラブをまとめました。インターアクトクラブを立ち上げました。そのような経験の中でお役にたてばと思います。

まだまだ勉強不足ですが、新たな景色を見させていただきます。

03

ガバナー補佐就任挨拶

第4グループ



2026-2027年度
第4グループ
ガバナー補佐

かね こ まさ お
金子 正男
(真岡RC)

この度、高橋智純ガバナーの下で第4グループのガバナー補佐を務める事となりました真岡ロータリークラブの金子正男です。皆様のご支援のもと、高橋ガバナーと第4グループのパイプ役として重責を務めさせていただきますので1年間宜しくお願い致します。

2026-27年度国際ロータリー オンラインカ・ハキーム・ババロラ会長のテーマは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。このテーマの下で高橋智純ガバナーは次の地区目標をあげました。

- ・会員増強
- ・ロータリー財団・地区補助金を活用した奉仕活動の実施
- ・全クラブの優秀賞受賞(クラブセントラルの入力)
- ・ロータリー財団年次寄付 1人150ドル
- ・ポリオ根絶寄付 1人30ドル
- ・米山記念奨学金寄付 1人19,000円

この目標を第4グループとしては、減少する人口および会員の歯止めになる様な増強と退会防止に力を入れていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

第5グループ



2026-2027年度
第5グループ
ガバナー補佐

くろ さわ あき お
黒澤 昭夫
(小山RC)

2026-2027年度第5グループガバナー補佐を務める事になりました小山ロータリークラブの黒澤昭夫です。

皆様のご支援をいただきながら、高橋智純ガバナーと第5グループのパイプ役を果たすべく精一杯努力致しますので1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

2026-2027年度RI会長オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏は、本年度のメッセージとして「持続可能なインパクトを生み出そう」を掲げました。「ロータリー会員である私たちは、

より良い未来というビジョンを共有しています。そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません」と目標に掲げられ活動をスタートします。

高橋智純ガバナー地区行動計画方針は「奉仕を通して、ロータリーを楽しもう」です。当地区及び各クラブ会員に期待する「インパクト」とは

- 1 これまでの実績を超える会員増強
- 2 新たな時代を切り拓く斬新なクラブの設立
- 3 伝統の継承にとどまらない革新

具体的には

クラブ活性化に向けた行動計画の推進 3 YEAR ROLLING TARGETS

会員増強、退会防止対策

ロータリー財団への寄付協力とグローバル補助金の活用

米山記念奨学会への寄付協力と米山奨学生の支援

ポリオ撲滅月間における地域に根差したインパクトある募金活動の実施

会員の皆様と協力させて頂きながら、地区方針・地区目標の実現に努めさせて頂きたいと考えております。

重ねて第5グループの皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

03

ガバナー補佐就任挨拶

第6グループ



2026-2027年度
第6グループ
ガバナー補佐
針谷 哲也
(栃木西RC)

～持続可能なインパクトとは～

みなさんこんにちは！ 2026-27年度第6グループガバナー補佐を拝命しました栃木西ロータリークラブの針谷哲也と申します。甚だ若輩者ではございますが精一杯努めさせていただきます。1年間何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、2026-27年度国際ロータリー会長のオンラインカ・ハキーム・ババロラ氏は「持続可能なインパクトを生み出そう」というスローガンを掲げられました。私もそうですが、この短い文言から多くを解釈することは多くの人にとって難しいように思えます。換言すれば、文言の意味は理解し

てもすぐには腑に落ちない感じがします。

そこでみなさんには、このスローガンの説明がされているメッセージをゆっくりお読みになることをお勧めします。そして私は数度読み返しました。そうすれば少しずつ腑に落ちることだろうと思います。

私の解釈では、まず最初に私たちがすべき事は「ロータリーが自分自身をどう変えたか」と自問することです。ロータリーが自身のキャリア、ビジネスそして家族や友人をどのように変えたかを深く考えることから始まります。

次に、自身の内なる変化を意識し解き放つことができれば、もともとより良い未来というビジョンを共有する仲間と力を合わせて意義ある奉仕活動という成果をあげることができます。そしてそれをバリューアップ、アップグレードし続けることによってその目標地点である**持続可能なインパクト**が生み出されるという図式です。

私たちのクラブや地区での奉仕活動によって持続可能なインパクトを生み出し、また世界中の様々な国、地域でも同様のインパクトが生み出されれば初めは小さな波紋ですがそれぞれが呼応するようにつながり、次第に大きな波紋となり理想的なムーブメントになるでしょう。

第7グループ



2026-2027年度
第7グループ
ガバナー補佐
黒田 雄一
(鹿沼RC)

この度、2026-2027年度の国際ロータリー第2550地区ガバナー[高橋智純]様のもと、第7グループのガバナー補佐という重責を拝命いたしました。鹿沼ロータリークラブの黒田雄一でございます。伝統ある第7グループの各クラブを支える大役を務めるにあたり、その責任の重さに身が引き締まる思いでございますが、何卒皆様の温かいお力添えを賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

本年度、オンラインカ・ハキーム・ババロラR1会長は、「Create Lasting Impact(持続可能なインパクトを生み出そう)」というメッセージを掲げられました。このテーマが目指す、地域社会や私たち自身の心に「永続的

で意味のある変化」を生み出すためには、現場で日々活動される皆様一人おひとりの情熱と行動が不可欠です。どうか、皆様が積み上げてこられた知恵と力をお貸しいただき、ともに未来へ続く確かな足跡を残していただきますよう、伏してお願ひ申し上げます。

また、本年度の地区行動指針「奉仕を通して、ロータリーを楽しもう」のもと、ガバナーが示された以下の四つの「重点取組」の達成に向けても、皆様の格段のご協力をお願いいたたく存じます。

1. 風通しの良い組織文化の醸成: 誰もが自由に意見を交わし、互いを尊重し合える開かれた環境づくりへのご協力をお願いいたします。
2. 多様性の受容と活躍の推進: 異なる背景や視点を持つすべての会員が、それぞれの個性を活かして主役として活躍できるよう、お力添えをお願い申し上げます。
3. 斬新なクラブの設立推進: 時代の変化を柔軟に捉え、これまでの枠にとらわれない新しいロータリーの形をともに模索し、応援して下さるようお願いいたします。
4. リーダーの情熱ある実践: リーダーの皆様が先頭に立って情熱を示し、行動することで、クラブ全体に活力を与えて下さるよう、その実践とサポートをお願い申し上げます。

ガバナー補佐としての私の役割は、地区とクラブをつなぐ「シャフト(軸)」であり、円滑な運営を助ける「潤滑油」、そして皆様を支える「黒子」と考えております。定期的なクラブ訪問の際には、ぜひ皆様の忌憚のないご意見や、現場ならではのご要望をお聞かせください。皆様のお声をしっかりと地区へ届け、より良いクラブ運営のお手伝いができるよう誠心誠意努めてまいりますので、どうか私を存分にご活用いただければ幸いです。

最後になりますが、浅学非才の私ゆえ、至らぬ点多々あるかと存じます。第7グループの全会員の皆様、本年度の終わりには「ロータリーを心から楽しめた」と感じていただけるよう、精一杯努力してまいりたいと存じます。一年間、会長、幹事ははじめとする会員の皆様方の格別のご指導、ご鞭撻を心よりお願ひ申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

03

ガバナー補佐就任挨拶

第8グループ



2026-2027年度
第8グループ
ガバナー補佐
栗原 順一
(足利わたらせRC)

このたび、2026-27年度第8グループのガバナー補佐を拝命いたしました、足利わたらせロータリークラブ所属の栗原順一と申します。微力ではありますが、高橋ガバナーと第8グループの繋ぎ役として、努めてまいりたいと思います。何卒、よろしくお願い申し上げます。

2026-27年度オンラインカ・ハキーム・ババロラRI会長はこう言っています。歩みを止めてはならない。「グッド」が「ベター」になり、「ベター」が「ベスト」になるまでは。また、「持続可能なインパクトを生み出そう」とも言っております。

高橋ガバナーから4つの重点取組

1. 風通しの良い組織文化の醸成
2. 多様性の受容と活躍の推進
3. 斬新なクラブの設立推進
4. リーダーの情熱ある実践

持続可能なインパクトを生み出すことへの意欲が会員を変え、クラブを変え、地区を変えます。

この目標がグループ全体に浸透し、具体的な活動へつながるよう努めてまいります。各クラブの会長、幹事、会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

第9グループ



2026-2027年度
第9グループ
ガバナー補佐
谷 和文
(葛生RC)

この度、高橋ガバナー年度第9グループのガバナー補佐を拝命いたしました葛生ロータリークラブの谷和文と申します。

微力ではございますが、皆様のご協力を頂きながら務めさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

2026-27年度RI会長オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏は、メッセージとして「持続可能なインパクトを生み出そう」を発信されました。

それを受け高橋ガバナーは地区および各クラブにおける「インパクト」とは

- ・これまでの実績を超える会員増強
- ・新たな時代を切り拓く斬新なクラブの設立
- ・伝統の継承にとどまらない革新

この3つであると定義いたしました。

そして地区方針を「奉仕を通して、ロータリーを楽しもう」としました。

各クラブ会員同士がロータリー活動を通して友情を深めロータリーを楽しもうではありませんか。

重点取組としては

1. 風通しの良い組織文化の醸成
2. 多様性の受容と活躍の推進
3. 斬新なクラブの設立推進
4. リーダーの情熱ある実践

であります。

森本ラーニングファシリテーターは「全会員がMY.ROTARYのアカウントを取得し、クラブセントラルを活用することでクラブの活動は可視化され、奉仕のリソースも容易に得られるようになります。」と話されております。

ITの活用も行い、未来を見据えクラブの伝統を守りながら充実したロータリー活動ができるよう地区とのパイプ役として努力する所存です。よろしくお願い致します。

04

新入会員紹介



氏家 RC

さくら市
市長

中村 卓資
なかむら たかし

2025.7.9入会

この街や住民のために働くことが私の使命です。RCの一員として活動します。



氏家 RC

(株)塚本フェルフェア
代表

塚本 正道
つかもと まさみち

2025.7.9入会

微力ですがロータリーを通じて社会貢献ができればと思います。



氏家 RC

お丸山ホテル
支配人

加藤 康成
かとう やすなり

2025.10.1入会

ロータリークラブの活動を楽しみながらロータリアンとして成長したいです。



氏家 RC

(株)なりはひ
取締役社長

薄井 真人
うすい まさと

2025.10.1入会

地域のために奉仕活動に励み、地域に貢献していきたいです。



氏家 RC

momonect
代表

米山 百桃誉
よねやま ももよ

2026.4.27入会

ロータリークラブの一員になり仲間になれることを心より感謝いたします。



足利わたらせ RC

Blidven(株)
代表取締役

高橋 嶺
たかはし れい

2026.3.5入会

自分に出来ることで社会貢献し、人との繋がりを大切に活動します。



足利わたらせ RC

朝日染色(株)
代表取締役

田邊 友紀
たなべ ゆき

2026.3.5入会

ご縁に感謝し、笑顔で活動してまいります。



足利わたらせ RC

(株)LIG
代表取締役

桑沢 悠真
くさわ ゆうま

2026.3.5入会

よろしく願い致します。地域社会への奉仕活動に努めます。



足利 RC

(株)足利銀行 足利支店
理事支店長

木村 弘
きむら ひろし

2026.4.13入会

皆様との温かい交流を通じて深く学び、地域の未来へ共に歩んで参ります。



壬生 RC

(株)足利銀行 おもちゃのまち支店
支店長

小口 浩臣
こぐち ひろおみ

2026.5.1入会

よろしく願いいたします。

05

新入会員紹介



宇都宮東 RC

(株) 足利銀行 宇都宮中央支店
統括支店長 **吉田 英明**
よしだ ひであき

2026.5.19入会

会員の皆様との活動を通して勉強させて頂きます。よろしくお願ひ致します。



宇都宮東 RC

とちぎんTT証券(株)
宇都宮東支店 **齊藤 真生**
支店長 さいとう まお

2026.5.19入会

精一杯取り組んで参ります。ご指導よろしくお願ひ致します。



宇都宮東 RC

(株) 群馬銀行 宇都宮支店
支店長 **飯島 靖夫**
いじま やすお

2026.5.12入会

新入会しました飯島と申します。よろしくお願ひ致します。



大田原 RC

(株) 栃木銀行 大田原支店
支店長 **平船 徳章**
たいらぶね のりあき

2026.6.1入会

宜しくお願ひします。



大田原 RC

Stella(管理医療機器)
代表 **長谷川 まち子**
はせがわ まちこ

2026.6.1入会

活動を通して、ロータリー会員としての資質向上に努めていきたいと思ひます。



鹿沼 RC

(有) 宇梶工務店
代表取締役 **宇梶 達也**
うかじ たつや

2026.6.4入会

皆様との親睦を深めたいと思ひ入会致しました。よろしくお願ひ致します。



宇都宮西 RC

ヤマゼン コミュニケーションズ(株)
代表取締役 **山本 堅嗣宣**
やまもと みつのぶ

2026.6.4入会

皆さまから多くを学びながら、自身も成長してまいります。お願ひします。



宇都宮西 RC

大成建設(株) 関東支店
宇都宮営業所 **柳澤 威**
所長 やなぎさわ たけし

2026.6.4入会

地域への貢献と会員の皆様との交流を大切に、一生懸命活動してまいります。



宇都宮西 RC

宇都宮精機(株)
代表取締役 **石川 英明**
いしかわ ひであき

2026.6.4入会

一生懸命活動いたします。宜しくお願ひいたします。



05

物故会員/お知らせ

物故会員



鹿沼東 RC

布川 武男 享年93歳
ぬのかわ たけお

生年月日 1933年3月28日生
物故年月日 2026年4月3日
入会年月日 1973年11月1日

ご冥福をお祈り致します

ロータリー歴

寄付歴

PHF+3
米山功労者(3)

お知らせ

地区内・外 主要行事予定

▶ [地区ホームページへ](#)

送金カレンダー

▶ [地区ホームページへ](#)

クラブ定例報告カレンダー

▶ [地区ホームページへ](#)

例会場/事務所一覧

▶ [地区ホームページへ](#)

地区組織図

▶ [地区ホームページへ](#)

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

▶ [「ハイライトよねやま」へ](#)

文庫通信

▶ [ロータリー文庫へ](#)

文庫通信 397号

ロータリー文庫

文庫通信 397号：国連 (United Nations) とロータリー


「創造の場に立ち会う (ロータリアン誌3月号より)」ロータリアン誌編集委員/友：1995・4月/5P
 「第36回国際大会議事録 抜粋「リチャード・ウェルズ会長報告より：国連会議」(R1非公式AI参考訳)」
 リチャード・ウェルズ/1945/RL/4P
 「FROM HERE ON! : (国連憲章の英文をロータリアン向けに解説した冊子) (R1非公式AI参考訳) 1945/RL /126P
 「ロータリーと国連連合」亀井昭伍/友：1966・3月/2P
 「UN (国連連合) を如何に愛するべきか」討論
 (カルロスP.カムロ・ワンウィタヤコン殿下・ウォレン R.オースチン・レスターB.ピアソン/友：1995・3月/2P
 「国連の新しい方向を探る ～デグザル前国連事務総長とのインタビュー～ (ロータリアン誌3月号より)」
 ホルヘ・ペライド/友：1995・5月/RL /2P
 「Voices for PEACE 平和を求めよ (THE ROTARIAN 2003年2月号より)」
 アンソニーG.グレン/友：2003・2月/RL/6P
 「国連事務総長がロータリーに感謝 (付：国際大会議事録のご挨拶原文(R1非公式AI参考訳))」
 澤基文/友：2009・8月/convention proceeding/RL/7P
 「国連でのロータリーデー」RLWEB サイト

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。
 参考訳は R1 非公式であり、私的翻訳または AI 翻訳のため正確ではないこととさせていただきます。あくまで参考とし「公式英文書」ご理解の一助としてご活用ください。
 〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森ビル別館 6階

MyRotaryより（アルファベット順）

クラブ名	2025年7月1日	2026年1月1日	2026年5月31日
	会員数	女性会員数	会員数
足利	24	2	24
足利東	40	4	39
足利わたらせ	27	0	31
足利西	12	0	12
馬頭小川	15	0	17
今市	40	0	41
今市きぬ	24	0	24
岩舟	8	0	8
鹿沼	56	1	60
鹿沼東	43	7	45
烏山	13	2	13
黒磯	32	3	34
葛生	38	0	39
益子	29	3	28
壬生	15	1	15
真岡	45	1	48
真岡西	39	5	40
日光	17	4	17
西那須野	43	2	42
大田原	18	2	19
大田原中央	16	1	18
小山	21	1	21
小山中央	24	2	24
小山東	22	0	20
小山北	26	0	25
小山西	16	2	16
佐野	46	1	51
佐野東	21	1	19
下野上三川	24	3	24
高根沢	10	1	10
田沼	44	0	43
栃木	43	6	45
栃木南	35	9	38
栃木西	28	1	29
氏家	27	3	32
宇都宮	95	4	91
宇都宮90	39	5	37
宇都宮東	96	0	98
宇都宮北	43	0	46
宇都宮さつき	22	5	21
宇都宮南	56	7	55
宇都宮西	65	0	67
宇都宮陽北	63	6	63
宇都宮陽南	18	5	19
宇都宮陽東	48	10	47
45RC	1526	110	1555
<RAC>			
足利東	4		4
足利大学	14		24
蔵の街とちぎ	5		5
作新学院大学	4		13
宇都宮東	5		9
文星芸術大学			13
国際医療福祉大学			11
7RAC	32		79

留意事項：データの更新は、RIが受領してからレポートに反映されるまで6～7日程かかる場合があります。

[トップページへ
戻ります](#)




コーディネーター
NEWS

2026年7月号 No.1

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

二度目の奇跡へ：ポリオ根絶という人類の使命 腕に残る「勲章」と、人類の勝利

第1地域 ポリオ根絶コーディネーター(EPNC) 松田 英郎 (富良野 RC)

1980年、人類は医学史における最大の宿敵の一つであった天然痘を、この地球上から完全に根絶しました。私と同世代の方々であれば、自らの腕に刻まれた「種痘」の跡を覚えているはずです。小さな針がついたスタンプを押し、皮膚を傷つけてワクチンを塗り込むその手法は、決して洗練されたものとは言えません。化膿し、瘢痕として残るその跡は、現代の審美的な価値観からすれば「コスメチック」ではないかもしれません。しかし、その跡こそが、かつて人類を震え上がらせた死の恐怖から私たちが解き放たれた証であり、人類が英知を結集して勝ち取った「勝利の勲章」でもありました。

天然痘の根絶から45年が経過しようとしている今、私たちは二番目のウイルス、ポリオ(小児麻痺)をこの世から消し去ろうとする歴史的転換点に立っています。

ここでもう一人のポールを紹介します。

かつてポリオは、世界中で子どもたちの未来を奪う恐怖の象徴でした。その記憶を呼び覚ます装置が「鉄の肺」です。かつてサンディエゴで開催され世界協議会に参加した際、私は会場に展示されていたその実物を目にしました。学生時代に文献で見て「こんな大きなタンクの中に人を閉じ込めるのか」と驚愕した記憶が鮮明に蘇りました。現在の人工呼吸器の先駆けとなったこの巨大な装置は、かつて日本でも流行時に導入されていました。

2024年3月、この鉄の肺の中で70年以上を過ごした「ポリオサイババー」のもう一人のポール、ポール・アレクサンダー氏が亡くなりました。彼は感染によって呼吸筋が麻痺しながらも、不屈の精神で弁護士資格を取得し、社会復帰を果たしました。彼の功績は称賛に値しますが、同時に、彼が歩んだ一生がいかに険しく、過酷な闘いであったかを思わずにはいられません。ポリオによる弛緩性麻痺は、四肢の自由を奪うだけでなく、呼吸という生命の根幹をも脅かします。その重症度は個体の免疫力や抵抗力によって様々ですが、一人の人生をこれほどまでに縛り付ける病を、私たちは決して看過してはならないのです。ポリオの恐ろしさは、その潜伏性と広がりやすさにあります。実際に麻痺を起こすのは感染者の0.1%から1%程度に過ぎません。しかし、残りの99%以上は症状が出ない「不顕性感染」であり、本人が気づかぬうちにウイルスを排出します。つまり、一人の有症状患者が発生したとき、その背後にはすでに1,000人以上の感染者が潜んでいることを意味します。

ウイルスは人間の体内でしか増殖できません。だからこそ、下水道などの環境サーベイランス(監視体制)が極めて重要となります。2024年、パレスチナ自治区ガザ地区において戦闘を一時中断してまでワクチン接種が行われたのは、劣悪な衛生環境下で排出されたウイルスが、無防備な子どもたちの体内に入る連鎖を断ち切るためでした。たとえ戦火の中にあっても、



07 コーディネーターニュース

ウイルスは国境も思想も関係なく牙を剥きます。ワクチン接種は、今この瞬間も子どもたちの命を守る唯一の盾なのです。

幸いなことに、ポリオウイルスは抗原性の変化が少なく、かつて日本を救ったワクチンが今なお有効です。しかし、課題は山積んでいます。これまで主流だった生ワクチンは、稀にワクチン由来のポリオを発症させるリスクを孕んでいます。一方、そのリスクを排除した「不活化ワクチン」を世界中に届けるには、莫大なコストと物流網が必要で現実的ではありません。

また、ポリオ根絶は単なる医療の問題に留まりません。安全な水の供給、徹底した公衆衛生教育、そして何よりも安定した社会基盤が必要です。ウイルスを消し去ることは、その国や地域の生活水準を底上げすることと同義なのです。

2031年まで根絶目標が延長されましたが、これは決して敗北ではありません。最後の一步をより確実に、一人の取りこぼしもなく踏み出すための「決意の再設定」とであると捉えるべきでしょう。

かつて日本もポリオの流行に苦しみ、当時の母親たちが立ち上がり、生ワクチンの緊急輸入を実現させた歴史があります。現在の日本は、全くワクチン由来のポリオが発生しない不活化ワクチンへと移行していますが、この平和な日常は先人たちのあらがうような努力の上に成り立っています。

ロータリークラブをはじめとする世界ポリオ根絶イニシアチブ(GPEI)が担う役割は、もはや単なる医療支援の枠を超えています。それは、グローバル化の中で失われつつある「他者への献身」を呼び覚まし、地球上のどこに生まれても「呼吸する自由」と「歩む権利」を保障するための平和運動です。ただ、GPEI に対してイギリス政府が 2026 年以降直接的な支援を中止したという報告は極めて残念と言うしかありません。

かつて私が開業した 1991 年、バブル崩壊や湾岸戦争による資材高騰という逆風の中、先人たちは日本の未来を守るために汗をかいてきました。今、私たちが次世代に残すべきは、卑屈感ではなく、世界を救ったという確かな「プライド」です。

ポリオという言葉が歴史の教科書の中にだけ存在する世界を。その実現のために、皆様のさらなるご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

Rotary

END
POLIO
NOW
[トップページへ
戻ります](#)




コーディネーター NEWS

2026年7月号 No.2

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第2地域 ロータリー会員増強コーディネーター 若林 英博(東京麹町RC)

突然ではございますが、「コーディネーターニュース」は、今期で一区切りとなり、今後は『ロータリーの友』へ引き継がれる予定と伺っております。前任の野口英一 RMC から引き継ぎ、2025年8月号から本号まで、原稿の取りまとめを担当いたしました。この一年間、ご多用の中で執筆にご協力くださいました地域リーダーの皆さまに、心より御礼申し上げます。お寄せいただいた貴重なご意見や実践例は、読者にとって大切な情報として積み重なり、今後のクラブ活性の一助となるものと確信しております。



さて、4月のクラブ活性化セミナーでは、「会員がやめないクラブづくり」～みんなで語り合おう～をテーマに、退会防止に焦点を当てた参加型プログラムを実施しました。我々 RMC は初日の午後のセッションを担当し、基調プレゼンテーション、分科会、まとめまで、年明けから準備を重ねてまいりました。

特に大切にしたのは、「退会は“届”の話ではなく、心の中で起きている“水位”の話である」という視点です。退会届が出るずっと前から、会員の心には不満、違和感、疲れ、孤立感などが少しずつたまっているのではないかと。その水位に、私たちはどれだけ気づけているのかを共有しました。

ブレインストーミングでは、「会員のコップの水は、どんな時に増え、どんな時に減るのか」を話し合い、シナリオ演習では、役割や期待、周囲の言葉、小さな出来事が水位に与える影響を考えました。個人ワークでは、「防げた退会・防ぐべきだった退会」を振り返り、各地区で活用できる気づきや実践例を共有しました。

会員増強と退会防止は、両輪です。新しい会員を迎えるだけでなく、今いる会員が価値を感じ、居場所を持ち、ロータリー活動を続けたいと思える環境づくりが欠かせません。退会防止とは、退会届が出てから引き止めることではありません。会員一人ひとりの水位に早く気づき、声をかけ、名前を呼び、役割を託し、感謝を伝え、「あなたが必要です」という思いを届けていくことだと思います。今回の内容が、もっと元気なクラブづくりにつながれば幸いです。

なお、当日の資料やデータは、JAPAN PORTAL SITE に掲載されております。ぜひ各地区でご自由にご活用ください。

あわせて、本誌の発行を支えてくださいました国際ロータリー日本事務局の皆さまにも、厚く御礼申し上げます。



ARC の黒川真一さん(KUROCHAN)、樋口晃さん(GUCCI)、白鳥敬彦さん(Swan)には、ロータリー研究会、活性化セミナーのいづれにおいても、準備から当日の寸劇まで大変お世話になりました。皆さまと一緒に笑いながら取り組めた時間は、私にとって大切な思い出です。心強い仲間に出会えたことに、心より感謝申し上げます。

なお、黒川さんは2025-26年度をもってARCをご卒業されます。これまで本当にありがとうございました。



コーディネーター NEWS

2026年7月号 No.3

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

地域リーダーの醍醐味について

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 瀧 満(中津RC)

RPIC を拝命し、あっという間の1年が過ぎました。第3地域のガバナー、多くのクラブの皆様を支えられ、私のロータリーライフに新たなページを刻むことができました。任期はあと2年ありますが、地域リーダーの醍醐味をお伝えし、この役職を今から引き継いで頂く事になるロータリー会員の参考になればと考え、この紙面を使わせて頂く事にしました。



《地域リーダーの醍醐味》

1. Global Support Seminar (GSS)

エバンストンのワン・ロータリー・センターでの研修は世界各地から集まった地域リーダー約50名が毎日4コマのセッションを通じて、ロータリーの本質を掘り下げてゆきます。ロータリーの中核的価値観を体現できる最高のセミナーです。

2. ロータリーを俯瞰できるポジション

エバンストンで経験した世界のロータリー会員との交流で、クラブや地区の視点を超えた広い視野でロータリーを見る事が出来るようになりました。

3. 日本のロータリーの運営に携われる幸運

クラブや地区のことは知らなかった私にとって、日本のロータリー会員全体のために日々尽力されている RI 理事他の多くの役職のご苦勞を目の当たりにし、そのお手伝いができることに誇りを感じるようになりました。

4. クラブ、地区を超えた交流

各地区、各クラブのセミナーや地区大会での講演に招かれ、私の今までの経験やGSSで研修して来た内容を伝えてゆく過程で生まれた全国的なロータリー会員とのネットワークは私の人生を大いに豊かにしてくれました。



最後に、ロータリー公共イメージコーディネーターとしての活動の1コマを紹介させていただきます。掲載の写真は、2720 地区で行われました“ポリオ根絶カラオケチャリティー大会”に参加した一コマです。皆様のクラブでの積極的なイメージアップ活動を期待しております。

2026-27年度 国際ロータリー第2550地区

I 地区資金予算書

取入の部 基準会員数 1,620名 (単位:円)

科 目	金 額	備 考
地区資金受入	14,580,000	9,000円×1,620名
雑収入	500	前年度実績より
当年度取入合計	14,580,500	
前年度繰越金	19,518,395	前年度中間決算の繰越金です。前年度決算の繰越金に置き換わります。
合 計	34,098,895	

支出の部

科 目	金 額	備 考
＜委員会活動費＞		
地区研修委員会	20,000	会議費・研修会費
公共イメージ委員会	20,000	＃
クラブ奉仕委員会	60,000	＃
職業奉仕委員会	50,000	＃
社会奉仕委員会	20,000	＃
国際奉仕委員会	20,000	＃
青少年奉仕委員会	80,000	＃
ロータリー財団委員会	230,000	＃
米山記念奨学会委員会	60,000	＃
ローターアクト委員会	10,000	＃
ロータリーの友委員	10,000	＃
国際大会参加推進委員会	10,000	＃
地区運営委員会	240,000	＃
諮問委員会	345,000	＃
指名委員会	10,000	＃
地区会合	480,000	＃
D X推進委員会	20,000	＃
ガバナー補佐会議費	80,000	＃
R L I委員会	440,000	会議費、会場費、資料代
戦略計画委員会	10,000	会議費
小 計	2,215,000	
＜補助金＞		
地区大会	700,000	
クラブ・リーダーシップラーニングセミナー	1,150,000	旧地区研修・協議会
地区チーム・ラーニングセミナー	650,000	旧次期地区委員研修会
PELS・SELS研修会	1,000,000	旧PETS・SETS
I M	500,000	50,000×10グループ
会長、幹事会	100,000	
ガバナーエレクト国際協議会旅費	2,200,000	
次期ガバナー補佐研修費	220,000	
ガバナー補佐活動費	1,125,000	25,000円×45RC
親善活動費	400,000	野球大会他
拡大・増強活動費	400,000	新クラブ、インターアクト、ローターアクト
広報活動費	150,000	
ローターアクト奉仕基金	400,000	
小 計	8,995,000	
＜給付金その他＞		
ロータリー文庫運営費	324,000	1名200円の割(上期100円 下期100円)
全国ガバナー会費	348,300	1名215円の割(上期100円 下期130円)
R I J Y E M維持協力金注①	324,000	1名200円の割(上期100円 下期100円)
R I J Y E M賠償責任保険料	120,000	I A、R A、R Y L A、賠償責任保険料
ロータリー研究会分担金	750,000	
旅費	500,000	
登録料	700,000	
監査費	30,000	
年次報告書作成費	140,000	(データ)
雑費	124,200	
小 計	3,360,500	
＜予備費＞		
当年度支出合計	14,580,500	
次年度繰越金	19,518,395	前年度中間決算の繰越金です。前年度決算の繰越金に置き換わります。
合 計	34,098,895	

注①RIJYEMとは、一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構の略。

II 基金・協力金予算書

取入の部 基準会員数 1,620名 (単位:円)

科 目	金 額	備 考
ガバナー月信作成料	1,944,000	1人当たり金額 1,200円×1,620名
地区大会分担金	16,200,000	1人当たり金額 10,000円×1,620名
ガバナー事務所協力金	9,558,000	1人当たり金額 5,900円×1,620名
ガバナーエレクト協力金	810,000	1人当たり金額 500円×1,620名
青少年奉仕基金(注②)	9,072,000	1人当たり金額 5,600円×1,620名
ロータリー財団学友基金	162,000	1人当たり金額 100円×1,620名
2027年R研究会協力金(注③)	972,000	1人当たり金額 600円×1,620名
当年度取入合計	38,718,000	1人当たり金額 23,900円×1,620名
前年度繰越金	21,476,901	前年度中間決算の繰越金です。前年度決算の繰越金に置き換わります。
合 計	60,194,901	

支出の部

科 目	金 額	備 考
ガバナー月信作成料	1,944,000	
地区大会分担金	16,200,000	
ガバナー事務所協力金	9,558,000	
ガバナーエレクト協力金	810,000	
青少年奉仕基金(注②)	9,072,000	青少年交換、I A C、R Y L A
ロータリー財団学友基金	162,000	
2027年R研究会協力金(注③)	972,000	
当年度取入合計	38,718,000	
次年度繰越金	21,476,901	前年度中間決算の繰越金です。前年度決算の繰越金に置き換わります。
合 計	60,194,901	

注②: 青少年奉仕基金の中には、1年交換学生事業の青少年交換受入助成金が含まれます。

クラブへの1年交換助成金(5名×800,000円=4,000,000円)

注③: 2027年開催R研究会を主催する中谷R I理事のホスト地区としての協力金

23-24年度 会員一人当たり負担金額(年間)地区資金9,000+基金・協力金23,300円=32,300円

24-25年度 会員一人当たり負担金額(年間)地区資金9,000+基金・協力金23,900円=32,900円

25-26年度 会員一人当たり負担金額(年間)地区資金9,000+基金・協力金23,900円=32,900円

26-27年度 会員一人当たり負担金額(年間)地区資金9,000+基金・協力金23,900円=32,900円

III 危機管理等特定基金

危機管理等特定基金とは、青少年交換・V T T等に於ける不慮の事故及び震災・地区事務所移設・地区資金が不足した場合の基金です。

取入の部 (単位:円)

科 目	金 額	備 考
前年度より	40,022,904	定期預金・普通預金
雑収入	500	
合 計	40,023,404	

支出の部 (単位:円)

科 目	金 額	備 考
次年度繰越金	40,023,404	
合 計	40,023,404	

